

G空間^{タイムズ}×ICTの推進

G空間情報を誰もがいつでもどこでも使い、
G空間情報の高度な分析に基づいた確かな情報を入手するためには、
ICTの利活用により散在するG空間情報が相互に「つながる」ことが必要です。

総務省では、「G空間×ICT」による、
「元気な経済、便利な暮らし」、「安心安全な社会」、「活力ある地域」を実現するため、
各種プロジェクトに取り組んでいます。

散在する
G空間情報

地図データ



静態データ



動態データ



研究
開発

散在する動的 G 空間情報をリアルタイムで収集、検索、処理、配信する
G空間プラットフォームにおけるリアルタイム情報の
利活用技術に関する研究開発

高度化に利用

共通基盤

散在する G 空間情報の自由な利活用を可能とする

「G空間プラットフォーム構築事業」

G空間情報の
利活用

防災力や経済成長力の強化につながるイノベーションを促進する



「G空間シティ構築事業」

利活用

世界最先端のG空間防災モデルの確立に関する実証事業

<p>〔モデル1〕 津波発生時の波高計等 利用実況予測 / 情報伝達</p> 	<p>〔モデル2〕 都市災害時の地下街等 閉鎖空間における情報伝達</p> 	<p>〔モデル3〕 山間部や過疎地域等豪雨、 洪水時の迅速情報把握 / 情報伝達</p> 
--	---	--

先進的・先導的なG空間利活用モデルの確立に関する実証事業

<p>〔モデル4〕 高精度測位やビッドデータ利用 スマートロボット</p> 	<p>〔モデル5〕 3次元地図利用パリアフリーナビ</p> 
---	---

経済の再生、世界最先端の防災、地域の活性化